

第 32 回建設業経理士 1 級財務分析 解答速報

〔第 1 問〕 解答にあたっては、各問とも指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。
問 1

指数法とは、数個の分析比率を選択し、このウェイト付けされたポイントの合計が 100 となるようにした標準比率を定め[☆]、これと分析対象の比率を比較して点数化し、100 を上回るか否かによって、[☆]経営の良否を総合的に判定する方法である。これは、ウォールの開発した手法で、あえてウォール指数法といわれることもある。[☆]指数法では、評価指数の合計が 100 を上回れば良い評価とするが、[☆]分析にあたっては、採用する分析比率とそのウェイト付け、基準比率の妥当性が必要であり、そこに恣意性が介入しないよう留意しなければならない。[☆]

問 2

経営事項審査では、経営状況进行分析した結果は Y 評点と呼ばれ、負債抵抗力、収益性・効率性、財務健全性、絶対的力量的 4 つの観点からそれぞれ 2 つずつ、計 8 つの指標をもとに^{☆☆}、建設会社の経営状況が総合的に分析される。それぞれ算出した指標に対しては、定められた係数（ウェイト）を掛け、それらを合計して評点を求めることになっており、[☆]総合評価の手法のうち、考課法の考え方が用いられているのが特徴である。[☆]また、建設業における経営事項審査では、多変量解析法によって評点を算出しているところにも特徴がある。[☆]

予想採点基準

☆の前の文の内容が正解で
☆… 2 点 × 10 = 20 点

〔第2問〕

記号（ア～ハ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9
オ	ナ	サ	タ	チ	キ	ス	シ	ノ

★ ★ ★ ★ ★ ★ ☆ ★ ☆

10	11	12	13
ニ	工	ネ	ヘ

★ ★ ★ ★

予想採点基準

☆… 2点×2=4点

★… 1点×11=11点

合計 15点

〔第3問〕

(A) ☆

51,810

百万円（百万円未満を切り捨て）

(B) ☆

16,500

百万円（同 上）

(C) ☆

190,950

百万円（同 上）

(D) ☆

1,590

百万円（同 上）

支払勘定回転率 ☆

2.41

回（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

予想採点基準

☆… 4点×5=20点

〔第4問〕

問1 ☆

68.00

%

（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

問2 ☆

4,584,040

千円

（千円未満を切り捨て）

問3 ☆

14,325,125

千円

（同 上）

問4 ☆

44.49

%

（小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入）

問5 ☆

4,584,040

千円

（千円未満を切り捨て）

予想採点基準

☆… 3点×5=15点

〔第5問〕

問1

- A 経営資本営業利益率 ☆ % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)
- B 立替工事高比率 ☆ % (同 上)
- C 運転資本保有月数 ☆ 月 (同 上)
- D 借入金依存度 ☆ % (同 上)
- E 棚卸資産滞留月数 ☆ 月 (同 上)
- F 完成工事高増減率 ☆ % (同 上) 記号(AまたはB)
- G 営業キャッシュ・フロー対流動負債比率 ☆ % (同 上)
- H 配当率 ☆ % (同 上)
- I 未成工事収支比率 ☆ % (同 上)
- J 労働装備率 ☆ 千円 (千円未満切り捨て)

問2

記号(ア～ヤ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
力	ソ	エ	ム	チ	ア	シ	キ	オ	フ
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★

予想採点基準

☆… 2点×10=20点

★… 1点×10=10点

合計 30点